

平成27年度第1回 独立行政法人農業者年金基金資金運用委員会 議事概要

1. 開催日時

平成27年6月19日（金）14:00～16:00

2. 開催場所

独立行政法人農業者年金基金 特別会議室

3. 出席委員

・浅野幸弘 委員長 ・臼杵政治 委員 ・菅原晴樹 委員 ・枇杷高志 委員

4. 議事

- ・資金運用委員会について
- ・委員長の選任について
- ・平成26年度運用結果及びその評価について
- ・政策アセットミクスの検証について など

5. 概要

資金運用委員会が業務方法書本則に明記されたこと等について、事務局から説明した。

委員互選の結果、浅野委員が委員長に選出された。委員長から委員長代行に枇杷委員が指名された。

平成26年度の運用結果及びその評価について、事務局から説明し、報告のとおり了承された。

また、被保険者ポートフォリオの政策アセットミクスについては、直近の経済動向に基づき検証した結果、引き続き、リスクが低く効率的であると認められることから見直す必要はないとされた。

なお、委員からの主な意見等は以下のとおり。

<主な意見等>

- 今回の政策アセットミクスの検証の前提となる各種金融変数の考え方や計算手法について、質疑があり、検証内容が了承された。
- 今後、被保険者ポートフォリオにおいてもインフレ対応について検討する必要があるのではないか。
- 今後、被保険者ポートフォリオの資産を現行の伝統的4資産（国内債券、国内株式、外国債券、外国株式）に固定せずに、内外株式、内外債券といった区分にすること等も含めて検討してはどうか。その際、外国債券を為替ヘッジした方が良いか、外国株式における新興国株式への配分などについても検討する必要があるのではないか。
- 加入者に対して、資金運用に関するアンケートを作成する際には、質問内容や方法について委員の知見を活用すべきである。
- 運用受託機関を評価する際に、監査法人などの第三者による評価も参考にできないか。

以上